

## <ちょこっとコラム③①>

(礼拝用語 その②)

### 「平和のあいさつ」 *The peace of the Lord*

聖餐式の中で、信徒と聖職が互いに「主の平和」という言葉と会釈や握手といった姿勢をもってかわす挨拶であり、キリスト者共同体に連なる者同士の和解、愛、そして新たにされた関係性のしるしです。ローマの信徒への手紙 16 章 16 節「聖なる口づけによって互いに挨拶を交わしなさい」とあるように、平和の挨拶は、初代教会から大切にされてきました。当初は洗礼と堅信を受けた後に、平和の挨拶をもって共同体に受け入れられるという意味が主でしたが、2 世紀頃から、奉献と陪餐の前に取り入れられるようになりました。その後中世で消滅することもありましたが、現在は初代教会の形に戻っています。